

## 看取りに関する指針

【 特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 練馬アネックスにおける「看取り介護」について 】

### 1. 看取り看護の基本方針

高齢者介護の基本は「尊厳の保持」であり、特別養護老人ホームは、ご入居者本人が個人として尊重され、その人らしい人生を全うできるよう支援を行うことが求められます。看取り介護の支援も同じであって、ご入居者本人とご家族の望みをかなえ、安らかな最期を迎えることができるように、ご入居者本人・ご家族の思いを受け止め、ご入居者本人とご家族が充実した時間を一緒に過ごすための環境整備をするなど、日々の生活を支えることが施設職員の大切な役目と考えます。

そのため、施設職員は、ご入居者本人とご家族の最期の迎え方についての気持ちを、日頃から敏感に受け止めておく必要があります。また、ご入居者本人とご家族が納得して「最期を安らかに過ごす場所」の選択ができるように、施設での看取り介護はどのようなものを十分に説明することが重要です。

説明や情報が不十分であったがゆえに家族がその決断に悔いを残すことのないよう、十分な意思疎通を図る必要があります。

施設においては、看取り介護を日常的なケアとは別にある特別のケアととらえる必要はなく、日常的なケアの延長線上にあるものとして、基本的な方針を定めることが重要と考えられます。加えて、看取り介護の基本方針をたてるのは施設の開設者や管理者の役割であり、開設者や管理者は看取り介護について十分な理解と知識を持った上で、リーダーシップを発揮して施設の看取り介護を進めていく必要があると考えています。

### 2. 看取り介護の方針

当施設で行う看取り介護は、一般に認められている医学的知見から判断して回復の見込みがないと判断し、かつ、医療機関での対応の必要性が薄いと判断した対象者につき、ご入居者またはご家族にその判断内容を丁寧に説明し、施設の方針に則り作成された看取り介護に関する計画、つまり、終末期を施設で介護を受けて過ごすことに同意し実施される事を前提とします。ご入居者本人が慣れ親しんだ場や人々の中で、いかに生きていただくかを考え、実践することを考えます。ご本人の意思ならびにご家族の意向を実現可能な範囲で尊重し、気持ちに寄り添いながら、ご家族の心身の疲労や精神的なご負担にも配慮しつつ、施設において対応可能な支援をさせていただきます。

### 3. 看取り介護の目的

看取り介護の目的は、こうした前提の下、ご本人が最期まで尊厳を保ち、安らかな気持ちで生きることができるように支援します。たとえ回復することが期待できない状況でも、残された時間、今日一日を、身体的にも精神的にも、ご本人らしく過ごして頂けるように支援することです。また、ご家族の気持ちを理解し、支え、悲しみや苦しみを分かち合うための支援をいたします。

#### 4. 看取り介護の共通認識

- ① ご本人またはご家族の同意を得て行います。
- ② 施設の看取り介護の方針に則り、ご本人ならびにご家族の意見や思いを含め看取り介護計画を作成します。
- ③ 看取り介護は、日常生活の延長線上にあると捉えた上で日々の日常ケアの充実を図ります。
- ④ その人らしい人生の最期を迎えられるよう、ご本人とご家族が残された時間をゆったりと過ごすための支援をします。
- ⑤ ご家族が遠慮や気兼ねをしないで済むような配慮を行うとともに、職員もできるだけ関わられるよう支援します。
- ⑥ 認知症で意思が伝えられない方、ご家族が遠方のために訪問してもらえない方、このほか様々な事情で施設において人生の幕を閉じようとする方の充実した最期の日々のためにも、できる限りの支援をします。
- ⑦ ご本人、ご家族と「死」の話題をはぐらかすことなく、共に残された時間を大切にします。
- ⑧ 時間経過や症状変化に伴い、ご本人、ご家族の思いが揺れ動いた場合は、いつでも思いを伝え、施設もその思いを真摯にお伺いします。また、「同意書」によりすでに意思が確定していても同様です。
- ⑨ 施設は、常勤医師の配置がなく、医師とは協力医療機関とも連携し、必要に応じ健康上の管理をします。夜間は医療スタッフが不在で、看護職員は緊急時の連絡により駆けつけるオンコール体制です。
- ⑩ 予測されない状態の急変などがあった場合は、救急隊等が判断した医療機関に搬送することがあることをご本人やご家族は予め了解して頂きます。この場合、経過観察記録等の必要書類を提示します。状況によっては事後報告になる場合があります。
- ⑪ 病状の変化等に伴う緊急時の対応については、看護職員が医師との連絡をとり判断します。夜間においては、夜間勤務職員が夜間緊急連絡体制にもとづき看護職員と連絡をとって緊急対応を行います。
- ⑫ ご家族との 24 時間の連絡体制を確保させて頂きます。

#### 5. 看取り介護の事前の取り組み

- ① ご本人、ご家族が最期の時間を共にゆったりと過ごす場を提供できるような環境整備を行います。
- ② 看取り介護に関する内容について、以下のような職員研修を実施します。
  - 生きることの意味
  - 死に逝くことについて
  - 施設における看取り介護の考えか・
  - ご本人・ご家族とのコミュニケーション
  - 身体機能の低下プロセスと変化への対応
  - 看取り介護のケアプラン
  - 看取り介護の内容
  - 看取り介護のチームケア

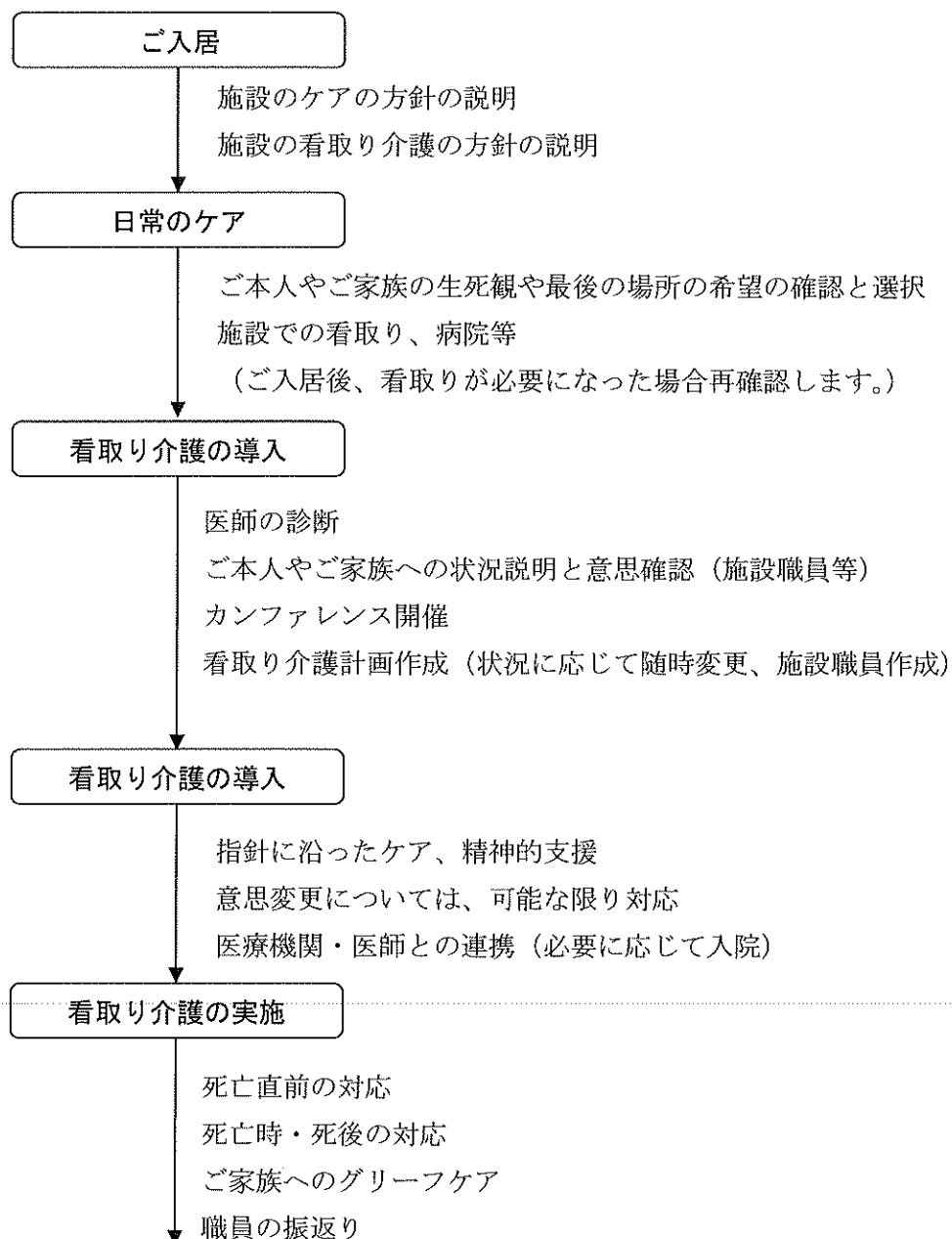
○夜間・緊急時の対応

○職員のメンタルケア、ご家族へのグリーフケア

○告別

- ③ 時間経過や症状変化に伴い、ご本人、ご家族の思いが揺れ動いた場合にも、いつでも思いを伝えられるようユニット職員の配慮をします。また、ご希望が職員に周知できるように、必ず記録します。
- ④ 医師・医療機関と夜間、緊急時における24時間連絡体制（オンコール）をとり、緊急時対応マニュアルを整備し、職員間で周知徹底を図ります。
- ⑤ 夜間・緊急時において連絡すべきご家族の連絡先も確認し、明記しておきます。
- ⑥ お別れの場（居室）の準備をします。

## 6. 看取り介護の流れ



## 7. 看取り介護の内容

### ① 環境整備

ご家族が気兼ねなく付き添い、ご入居者本人と最期の時間を過ごせるように、室温調整や採光、換気などに注意し、ご家族がご用意する音楽をかけたり、お花を飾ったりするなど、最期の時を安楽にゆったりと迎えるための環境整備をします。

### ② 栄養・食事

食事・水分摂取量の確認を行い、嚥下機能など考慮し、ご本人の状態に応じ医学的配慮や施設として許容される範囲で食事等の提供を行います。先述の許容範囲内であれば、ご家族がご用意した好みの食事等を召し上がっていただくことも可能です。

### ③ 清潔

常に清潔を保てるよう、負担がかからない程度に入浴、清拭などを行います。ご本人が「気持ちいい」ことを重視し、身体を確認しながら、適切な方法で清潔を保ちます。

### ④ 排泄

食事・水分摂取量と尿量・排便量を確認し、状態により腹部マッサージや下剤の服用、浣腸の使用、ガス抜きなども行います。

### ⑤ 疼痛緩和

状態に応じて安楽な体位を工夫し、体位交換等を行います。

### ⑥ 精神的支援

ご本人の不安や苦痛を取り除くため、できるだけ1人にしないようにします。手を握る、体をマッサージするなど、声掛けやスキンシップを十分にとるように努めます。特に、精神的な支援については、ご入居者本人が人生の大半を共に暮らしたご家族から受けるところが大きいため、ご家族とも十分に話し合います。

### ⑦ ご家族への継続的な支援

時間経過や症状変化に伴い、ご本人、ご家族の思いが揺れ動いた場合にも、いつでも思いを伝えられるように努めます。ご家族の不安をできるだけ少なくするため、身体機能の低下のプロセスなどを分かりやすく説明し、不安を募らせることがないようにします。職員がご家族と悲しみの気持ちを共に分かち合い、共にご本人を支えます。

## 8. 緊急時の対応

### ① 施設でできる処置の実施、状況の把握

### ② 医師に連絡、指示を仰ぐ

### ③ 医師がすぐに診察できない場合

#### i. 119番に連絡・救急搬送

#### ii. 施設長・管理者・ユニットリーダーに連絡

- ▶ 担当医師に「看取り介護同意書」などを見せ、施設で終末期ケア中であることを伝える。

附則

平成29年7月1日 施行

看取り介護についての同意書

特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 練馬アネックス利用にあたり、ご入居者本人・ご家族に対し、本書面に基づいて「特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 練馬アネックス看取り介護に関する指針」の説明をいたしました。

〈事業者〉      住 所 東京都練馬区土支田 2-36-16  
  
名 称 社会福祉法人春和会  
特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 練馬アネックス  
  
施設長 重松 久雄

〈説明者〉      所 属 社会福祉法人春和会  
特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 練馬アネックス  
  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印

私は、「特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 練馬アネックスにおける「看取り介護」について」説明を受けました。特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 練馬アネックスの指針に基づく重度化対応の取組みに同意します。

令和      年      月      日

〈ご入居者〉      住 所 \_\_\_\_\_  
  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印

〈署名代理人〉      住 所 \_\_\_\_\_  
  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印

〈身元引受人〉      住 所 \_\_\_\_\_  
  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印